

2020年10月30日

麻布大学、データサイエンス人材の育成強化に向けて データアントレプレナーコンソーシアムへ参加

麻布大学

麻布大学(学長:浅利昌男、本部:神奈川県相模原市、URL: <https://www.azabu-u.ac.jp/>)は、国立大学法人電気通信大学が代表機関を務めるデータアントレプレナーコンソーシアム(<https://de.uec.ac.jp/consortium/>)に参加して、産学官連携でデータサイエンスの人材育成を強化していきます。本学は同コンソーシアムを通して、企業や学外の専門家との連携・協力により、データサイエンス人材育成のニーズに対応した教育・研究に取り組みます。

同コンソーシアムは、多様な分野の機関で形成されており、各機関のネットワークを通じて人材の発掘、育成、活躍促進を目的とする活動を実施しています。

麻布大学は、同コンソーシアムが進めているデータサイエンス人材育成プログラム(データアントレプレナーフェロープログラム)の目的や事業内容に賛同し、2大学目の学会会員として今年度より新たに加入しました。本学では獣医系大学として、人・動物・環境の分野に関する教育・研究を展開しており、各専門分野の知見に加えて、データサイエンスのスキルを活かせる人材育成に取り組みます。

麻布大学では、Society 5.0 時代に向けた人材育成の強化に向けて、全学共通のデータサイエンス教育の推進を中核とした教育改革プロジェクト『麻布未来プロジェクト130』を始めています。本学は、「地球共生系～人と動物と環境の共生を目指して～」を教育・研究理念として、創立以来、培ってきた専門知識教育に加えてデータサイエンス教育を推進し、その知識・情報(データ)を活用できる『時代を先導する人材』を全学的に育成することを目指します。



本学では今年度より、従来の数理統計科目に加えて、全学共通のデータサイエンス発展科目(地球共生系データサイエンス)を新規開講しました。この新講座では、コンソーシアムの連携の協力により、学外のデータサイエンスの専門家を講師として招聘しています。コンソーシアムが開講するデータアントレプレナーフェロープログラムには、本学、食品生命科学科の教員と環境保健学研究科の大学院生がカリキュラムを受講しています。

また本学の食品生命科学科では、食のスペシャリストに求められる新たなニーズに対応し、「食の情報」分野に注目して、食のデータサイエンスに対応する人材育成を強化しています。食品科学に関する深い知識や洞察力のもと、データの収集や解析に必要な知識とスキルを身に付けた食の専門家を育成していきます。

●齊藤史朗（電気通信大学特任教授／データサイエンティスト協会事務局長）氏のコメント
この度、麻布大学様がデータアントレプレナーコンソーシアムにご加入いただいたことを、とてもうれしく思います。データサイエンスは、ご存知の通り、データ構造やデータ解析についての数理的な議論だけから成り立っているわけではありません。データサイエンスは実践的であることを本質としています。すなわち、何らかの課題を解決することを求められています。そのため、その課題領域、そこから生み出されたデータについての、領域独自の知見を不可欠としています。

だから、データサイエンスの発展のためには数理や情報科学だけでなく、専門諸学に積み重ねられた知見が必要なのです。麻布大学様が企図されている「食のデータサイエンス」という新しい分野は、食についての深い知見とデータサイエンスのスキルの2つの知識・ノウハウを欠かすことができません。

先日、コンソーシアムの連携機関様から教育用にとご提供いただいたデータを、データアントレプレナーフェロープログラムの受講生の分析テーマとして活用したところ、大変興味ある結果が出てきたのですが、その分析をより発展させるためには獣医学の知見を必要としています。私は本年度から始まった麻布大学におけるデータサイエンス講義（「地球生命系 データサイエンス・同演習」）の企画と講義を担当しておりますが、現在、この講義の受講生である獣医学部の学生の力を借りながら、分析を進めている最中です。願わくは、コンソーシアムの中で、課題とデータを提供し、それをコンソーシアムの中の大学や講義の参加者によって解決するという、教育と実践とが一体となったプロジェクトを具体化したいと考えております。

麻布大学様の加入により、データアントレプレナーコンソーシアムは、食ばかりか、動物、そして地球生命に関する知見を得ることができるようになりました。データアントレプレナーコンソーシアムからはデータサイエンスの最新の知見やデータサイエンス教育において蓄積されたノウハウを共有し、麻布大学様からはこれまでコンソーシアムの持っていなかった領域の知見やデータをご提供いただくことにより、データサイエンスのより一層の発展を推進して行きたいと思っております。

<関連情報>

●データアントレプレナーフェロープログラム

文部科学省 科学技術人材育成費補助事業 データ関連人材育成プログラムの採択を受けた データアントレプレナーコンソーシアムが開講する人材育成プログラムです。

<https://de.uec.ac.jp/program/>

●麻布大学の関連情報

- ・麻布大学、創立 130 年を機に、「麻布未来プロジェクト130」を開始

<https://www.azabu-u.ac.jp/files/bdff5f909c9373a942c4be99ba7adadf.pdf>

- ・プレスリリース：食のデータサイエンティストを育成

https://www.azabu-u.ac.jp/files/20191028_PressRelease.pdf

- ・食品生命科学科：https://www.azabu-u.ac.jp/academic/life_environmental/food_life/

- ・同学科特設サイト：<https://www.azabu-food.com/>

- ・食のデータサイエンス研究室：<https://www.azbneds.com/>

<参考情報>

●麻布大学について

麻布大学は、今年 2020 年には学園創立 130 周年を迎え、獣医系大学として二番目に長い歴史を持つ大学です。私立大学として動物学分野の研究に重点を置くトップクラスの実績を基盤に、新たな人材育成に積極的に取り組んでいます。

本学は、獣医学部（獣医学科、動物応用科学科）と生命・環境科学部（臨床検査技術学科、食品生命科学科、環境科学科）の 2 学部 5 学科と大学院（獣医学研究科と環境保健学研究科）の教育体制に、学部生：2,492 名、大学院生：82 名が学んでいます（2020 年 5 月 1 日現在）。1 つのキャンパス内（神奈川県相模原市）で、人・動物・環境に関する教育・研究を実施している国内唯一の大学です。

麻布大学の概要：<https://www.azabu-u.ac.jp/about/>

●本件のお問い合わせ先

<広報部門の連絡先>

- ・ 広報課 担当：栗末、有嶋
- ・ 電話：042-769-2032、メール：koho@azabu-u.ac.jp
- ・ HP <https://www.azabu-u.ac.jp/>